

令和 4 年度かながわの地域日本語教育の取組
(資料編)

神奈川県国際文化観光局国際課

目 次

	ページ
ウクライナ避難民向け日本語講座（チラシ）	1
ウクライナ避難民向けワークショップ（チラシ）	3
日本語学習支援実践者研修（チラシ）	5
日本語学習支援に係る相談対応実績	9
「かながわでにほんご」月別アクセスデータ	13
かながわ地域日本語教育フォーラム（チラシ）	15

ウクライナ避難民向け日本語講座

Японські лекції для

евакуйованих українців.

生活に必要な日本語をウクライナ避難民のみなで勉強しませんか。
皆さんの参加をお待ちしています！

日時

8月29日(月)～9月27日(火) 毎週 月曜日から金曜日(祝日除く)
午前10:00～12:00 (全20回)

Дата й час.

29 серпня (пн) ~ 27 вересня (вт).
Щопонеділка по п'ятницю (крім вихідних та державних свят).
Ранок 10:00 ~ 12:00 (всього 20 разів).



参加方法

希望に応じて、下記いずれかの方法で受講が可能です。

- ① 対面: 横浜デザイン学院 ※裏面参照
- ② オンライン: オンライン会議システム「Zoom」

対象

ウクライナから神奈川県内に避難されている方

受講費無料

定員

20名 ※申込多数の場合は抽選となります。

申込方法

申込フォーム(<https://forms.gle/Vaxu7ZBC1H6gn4eHA>)
からお申込みください。

締切 8月25日(木)空きがあれば締め切り後も参加可能



Як подати заяву.

Заява
(<https://forms.gle/XPxqN2GfC1KW6PxA8>)

Будь ласка, подайте заявку з URL-адреси.
Термін. 25 серпня (Чт).

Якщо є вакансія, ви можете взяти участь після закінчення терміну.

問合せ先

横浜デザイン学院

電話: 045-323-0300

メール: ukraine.it@ydc.ac.jp ※ウクライナ語・ロシア語の問合せはこちらで対応します

Академія дизайн Йокохама

Телефон: 045-323-0300

Електронна пошта: ukraine.it@ydc.ac.jp

※Запити українською та російською мовами
приймаються на електронну пошту.

Запити

主催: 神奈川県 実施: 横浜デザイン学院

■ 会場 ■

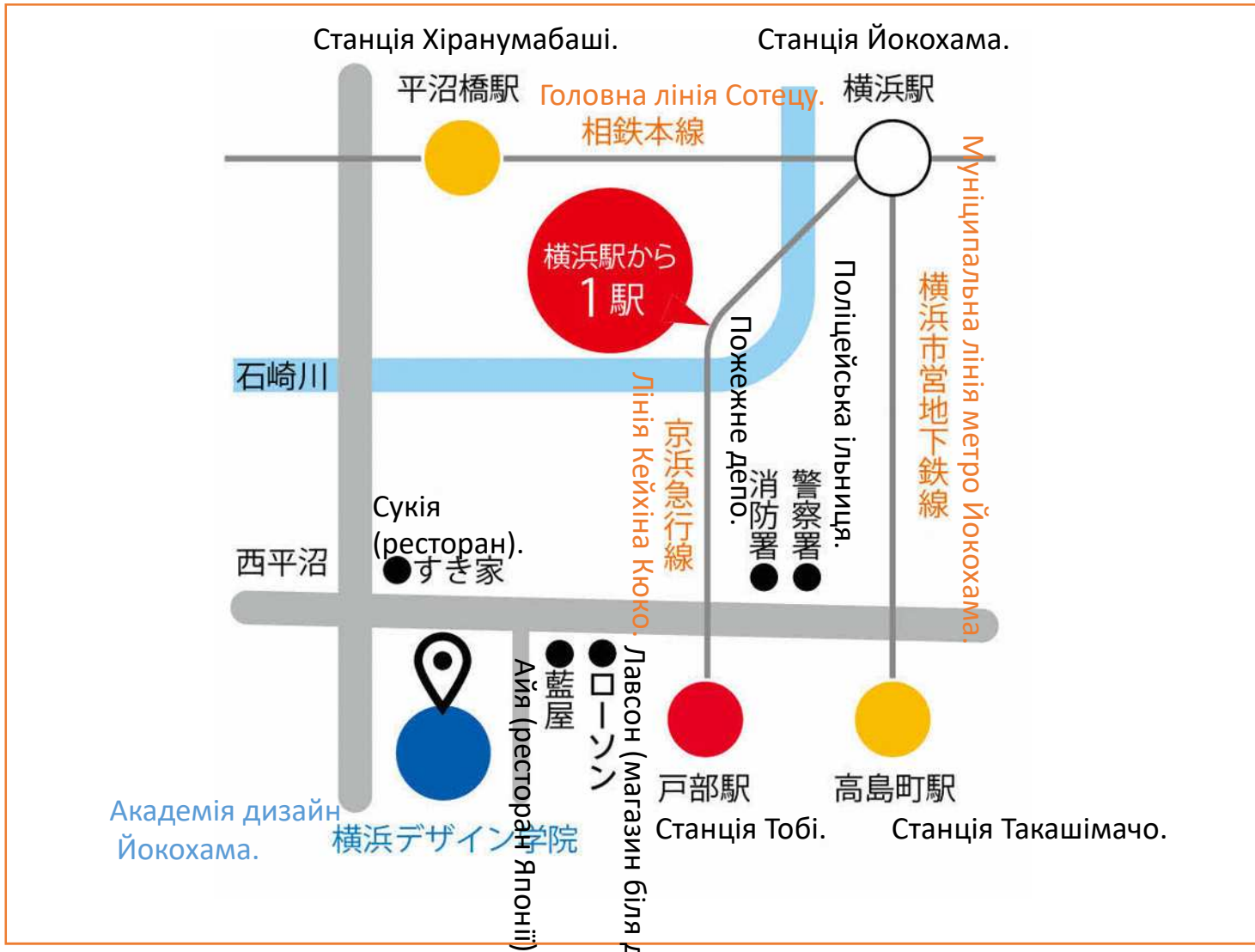
対面形式による受講を希望する場合は、次の会場にお越しください。

Якщо ви хочете відвідати курс особисто, будь ласка, приходьте до наступного місця.

横浜デザイン学院 3階 304教室

〒220-0051 神奈川県横浜市西区中央1-33-6

Йокохама дизайн коледж, 3-й поверх, кімната 304.
〒220-0051 1-33-6 Чую, Ніші-ку, Йокогама-ши, Канагава



京浜急行線「戸部」駅下車 …徒歩1分

相模鉄道線「平沼橋」駅下車 …徒歩5分

横浜市営地下鉄線「高島町」駅下車 …徒歩7分

Вийти на станції Keihin Kyuko Line "Tobe" 1 хвилина ходьби.

Вийти на станції Хіранумабаші на залізничній лінії Сагамі 5 хвилин пішки.

Вийти на станції муніципальної лінії метро Йокохама "Тakashimacho" 7 хвилин пішки.

ЗАПЛАНОВАНІ ДАТИ: 27.1.2023

4-й (всього 6 лекцій)

ПОЧАТОК НАВЧАННЯ: 13:00-15:00

Розташування: громадський центр префектура Канагава (5 хвилин ходьби від західного виходу станції Yokohama, центр префектури Kanagawa 15F 2-24-2 Tsuruya-cho, Kanagawa-ku, Yokohama)
<https://goo.gl/maps/oCYKCJbzsBm5pBNv9>



Цільова аудиторія : евакуйованні українці , які проживають у префектурі Канагава.

Кількість: 10 осіб(в порядку проживання, порядку обслуговування).
Навчання безкоштовно.

Застосування <https://forms.office.com/r/bXpp57PWNA>



実施日: 1/27(金) 第4回(全 6 回の開講です)
時間: 13:00-15:00
場所: かながわ県民センター(横浜駅西口徒歩 5 分)
横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2
かながわ県民センター15F
対象: 神奈川県内に在住のウクライナ避難民
定員: 10 名
費用: 無料
お申込み: 上記 QR コード(下側)

Префектура Канагава проведе навчання японської мови з поєднанням української та російської.

Український вчитель, який має великий досвід життя в Японії, добре обміркує ,як вам найшвидше вивчити японську мову і надасть послугу навчання, яка буде близькою кожному серцю, включаючи обмін між учасниками. Будь ласка, не соромтеся приєднатися до нас.

神奈川県ではウクライナ語・ロシア語を交えながら、日本語を勉強するクラスを開講します。このクラスでは、日本生活の経験豊かなウクライナ人の先生が、ウクライナ人には日本の文化がよくわからない事情などをよく考え、参加者同士の交流も交え、皆様の心に寄り添った学習サービスを提供します。どうぞ、奮ってご参加ください。



Любі друзі!

Давайте разом подолаємо японський мовний бар'єр!

Анонс уроків японської мови для евакуйованих українців від українського вчителя!

*Але вчитель буде навчати (пояснювати) на російській мові.

日本語の壁を乗り越えよう!
ウクライナ人によるウクライナ人のための
日本語クラス開講のお知らせ

Спонсорство
Канагавапрефектурний уряд

операція
Міжнародний фонд громадських інтересів Канагава

神奈川県主催事業
運営: (公財) かながわ国際交流財団

ЗАПИТ

БАГАМОВНИЙ ЦЕНТР ПІДТРИМКИ КАНАГАВА,
КОНСУЛЬТАЦІЙНА СЛУЖБА ПІДТРИМКИ
УКРАЇНЦІВ.

TEL: 045-316-2771
CHOSEI@KIFJP.ORG

問合せ先

多言語支援センターかながわ
ウクライナ避難民支援相談窓口
TEL: 045-316-2771
chosei@kifjp.org

白 紙

日本語学習支援実践者研修 @湘南地域

日本語教室は、外国人住民との相互理解の場や居場所、地域社会との接点として、とても重要となっています。

日本語教室が継続、発展していけるよう、教室間・地域間のネットワークづくりを目指し、研修を実施します。皆さまのご参加をお待ちしています。



第1回

日本語教室が地域の多文化共生の拠点となるためには？

生活支援などあらゆるニーズの集中している日本語教室が、地域に関わる多様な主体とのネットワークを活用し、多文化共生の拠点としてよりよい形で継続・発展することを目指します。

9月7日(水)
14:00~16:00

申込締切：8月26日(金)

内容

- 1) 報告「地域に暮らす外国人住民の現状」
報告者：高橋 翔氏（平塚市市民部文化・交流課 交流親善担当）
- 2) 事例紹介「ともに学び、ともに楽しむ 日本語教室活動の報告」
中 和子氏（ユッカの会代表）
- 3) 参加者交流会
～地域日本語教育の“あるある” シミュレーションゲーム
ANADO（アナドゥ）を体験してみよう～
講師：神吉 宇一氏（武蔵野大学グローバル学部日本語コミュニケーション学科教員）

第2回

日本語教室を魅力ある相互理解の場とするには？

日本語教室・日本語学習を通じた相互理解の場づくりについて、参加者がともに考えることで、参加者同士のノウハウ・リソースの共有を図ります。

9月25日(日)
14:00~16:00

申込締切：9月9日(金)

内容

- 1) 講義「相互理解を深める”対話中心の活動”の実践について」
講師：吉田 聖子氏（文化庁 地域日本語教育スタートアッププログラム アドバイザー）
- 2) グループワーク
「対話中心の活動」を実践するための工夫等について参加者同士で話し合います。
- 3) 神奈川県の日本語事業の取組概要の紹介及び情報提供

● 場所：平塚市崇善公民館（ひらつか市民活動センター 1階）

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、オンライン開催に変更する可能性があります。

● 定員：20名 ※定員を超えるお申込みがあった場合、抽選とさせていただきます。

● 申込方法：申込フォームよりお申込みください。-----> https://willap.jp/p/acc_4614/Kanagawanihongo_jissen/



講師・事例発表者

第1回

高橋 翔氏

平塚市市民部文化・交流課 交流親善担当／一般財団法人自治体国際化協会認定 多文化共生マネージャー

平塚市では、令和4(2022)年度、神奈川県が実施する市町村支援事業を活用し、市内の日本語教室のボランティア向けにオンラインによる日本語教室運営に関する研修を実施。地域の日本語教育に関する現状や課題の把握に取り組んでいる。

第1回

中 和子氏

ユッカの会 代表

願い:だれもが安心して その人らしく暮らせるように。
1980年代～外国人の生活サポート(ユッカの会:日本語学習や教科学習)に注力する。1998年、多文化読み聞かせを視野に入れ「かながわこどもひろば」の開設に関わる。2001年の創刊から2021年廃刊まで(公財)横浜市国際交流協会(YOKE)の多言語情報誌「横・よこ」やさしい日本語編集に関わる。2010年、あーすぶらざ2階にカフェ(thirdplace)を開設、運営に関わる。2021年「多文化高齢者ネットかながわ」(県社協との協働事業)を組織し活動を始める。

第1回

神吉 宇一氏

武蔵野大学グローバル学部
日本語コミュニケーション学科教員

社会人になって最初の仕事は小学校教員、その後、正規・非正規30以上の職を経験し、2016年より現職。専門は日本語教育、言語政策。文化庁地域日本語教育アドバイザーも務める。主な著書・論文に「公的日本語教育を担う日本語教師に求められるもの(『日本語教育』181号)」など。

第2回

吉田 聖子氏

文化庁 地域日本語教育スタートアッププログラム アドバイザー

「にほんごでつながる町づくり」を合言葉に、地域日本語教育の人材育成に携わって40年。全国各地でその地域に適した日本語教室に関わる人材育成に携わっている。神奈川県在住。著書「外国人と対話しよう!にほんごボランティア手帖」「同 すぐに使える活動ネタ集」

ANADOとは

日本語学習支援の現場で起こりうる困難や葛藤等について、参加者同士が意見交換をしながら、課題解決のプロセスを体験することを目的としたシミュレーションゲーム

(作成:ANADO作成チーム(公財)北九州国際交流協会)

会場

JR平塚駅西口より徒歩7分



お知らせ

本研修と同様の研修を
横須賀・三浦地域で実施します。

(第1回)

11月5日(土)

(第2回)

11月14日(月)

※一部講師変更あり

※「湘南地域」と「横須賀・三浦地域」の両方に申込みをすることも可能です。

検索

かながわでにほんご

日本語学習支援実践者研修

@横須賀・三浦地域

日本語教室は、外国人住民との相互理解の場や居場所、地域社会との接点として、とても重要となっています。

日本語教室が継続、発展していけるよう、教室間・地域間のネットワークづくりを目指し、研修を実施します。皆さまのご参加をお待ちしています。



第1回

日本語教室が地域の多文化共生の拠点となるためには？

生活支援などあらゆるニーズの集中している日本語教室が、地域に関わる多様な主体とのネットワークを活用し、多文化共生の拠点としてよりよい形で継続・発展することを目指します。

11月5日(土)
14:00~16:00

申込締切: 10月27日(木)

内容

- 1) 報告「地域に暮らす外国人住民の現状」
報告者: 杉山 賢一氏 (横須賀市市長室 交流推進担当課長)
- 2) 事例紹介「外国にルーツを持つ子どもたちへの学習支援と居場所づくり」
信田 将臣氏 (認定 NPO 法人多文化共生センター東京 事務局スタッフ)
- 3) 参加者交流会
～地域日本語教育の“あるある” シミュレーションゲーム ANADO (アナドゥ) を体験してみよう～
講師: 神吉 宇一氏 (武蔵野大学グローバル学部日本語コミュニケーション学科教員)

第2回

日本語教室を魅力ある相互理解の場とするには？

日本語教室・日本語学習を通じた相互理解の場づくりについて、参加者がともに考えることで、参加者同士のノウハウ・リソースの共有を図ります。

11月14日(月)
14:00~16:00

申込締切: 11月4日(金)

内容

- 1) 講義「相互理解を深める“対話中心の活動”の実践について」
講師: 吉田 聖子氏 (文化庁 地域日本語教育スタートアッププログラム アドバイザー)
- 2) グループワーク
「対話中心の活動」を実践するための工夫等について参加者同士で話し合います。
- 3) 神奈川県の日本語事業の取組概要の紹介及び情報提供

● 場所: 横須賀市産業交流プラザ 第2研修室

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、オンライン開催に変更する可能性があります。

● 定員: 20名

※定員を超えるお申込みがあった場合、抽選とさせていただきます。

● 申込方法: 申込フォームよりお申込みください。

https://willap.jp/p/acc_4614/Kanagawanihongo_jissen_2/



講師・事例発表者

第1回

杉山 賢一氏

横須賀市市長室
交流推進担当課長

横須賀市では長年地域で日本語会話サロンを運営しており、2022年4月からは子ども向けの日本語教室も開始した。

また、今年度は、日本語初心者向けの日本語講座として、生活オリエンテーション等を組み込んだ専門家による集中型の講座を神奈川県と共催で開催している(日本語クラス「はじめてのにほんご(横須賀教室)」)。

第1回

信田 将臣氏

認定 NPO 法人多文化共生センター東京
事務局スタッフ

塾講師を務めていた時に、外国にルーツをもつ子どもや家族からの相談件数が増えてきたことで、彼らの教育についての問題に関心を持つ。2017年に東京都荒川区「ハートフル日本語適応指導事業」の日本語指導員を務める。2018年から「認定NPO法人多文化共生センター東京」にて、平日は「たぶんかフリースクール杉並校」の教務を担当、土曜日はボランティア教室の運営サポート等を担当し、子どもたちや家族の支援に関わっている。

第1回

神吉 宇一氏

武蔵野大学グローバル学部
日本語コミュニケーション学科教員

社会人になって最初の仕事は小学校教員、その後、正規・非正規 30 以上の職を経験し、2016年より現職。専門は日本語教育、言語政策。文化庁地域日本語教育アドバイザーも務める。主な著書・論文に「公的日本語教育を担う日本語教師に求められるもの(『日本語教育』181号)」など。

第2回

吉田 聖子氏

文化庁 地域日本語教育スタートアッププログラム アドバイザー

「にほんごでつながる町づくり」を合言葉に、地域日本語教育の人材育成に携わって40年。全国各地でその地域に適した日本語教室に関わる人材育成に携わっている。神奈川県在住。著書「外国人と対話しよう!にほんごボランティア手帖」「同 すぐに使える活動ネタ集」

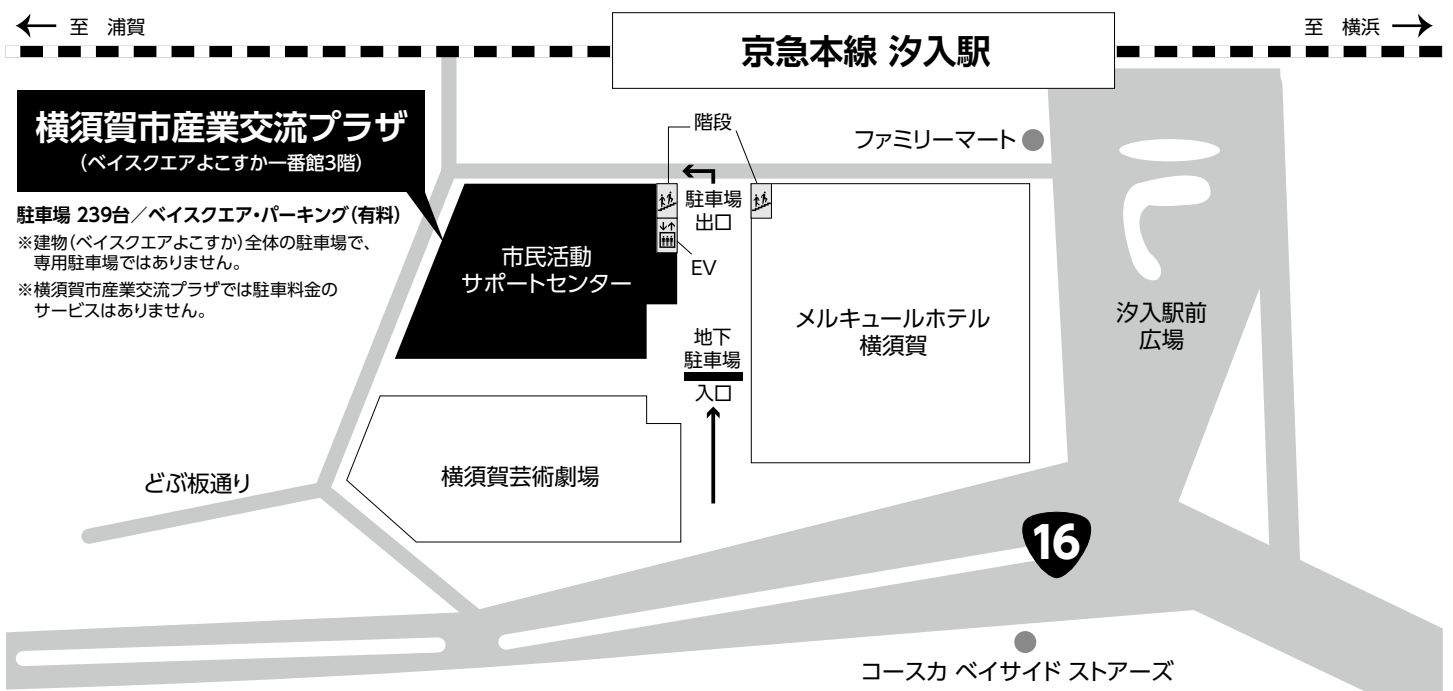
ANADOとは

日本語学習支援の現場で起こりうる困難や葛藤等について、参加者同士が意見交換をしながら、課題解決のプロセスを体験することを目的としたシミュレーションゲーム

(作成:ANADO作成チーム(公財)北九州国際交流協会)

会場

京急本線 汐入駅より徒歩1分



日本語学習支援に係る相談対応実績

※ R2は7月から開始
 ※ R4は4月から12月までの実績

【相談内容別 相談件数】 (単位:件)

分類		R2	R3	R4	合計
外国人当事者及び家族等					
	教室・学校情報	40	151	85	276
	教材に関する相談	1	1	0	2
	学習方法に関する相談	0	6	1	7
	その他	4	11	5	20
	小計	45	169	91	305
支援者等					
	教室(学校)情報	9	14	12	35
	日本語学習支援に関する相談 (ボランティアの希望・募集)	3	8	7	18
	日本語学習支援に関する相談 (教材・日本語指導等)	5	12	8	25
	日本語学習支援に関する相談 (教室運営・広報)	1	18	12	31
	研修等に関する相談	4	14	2	20
	やさしい日本語に関する相談	4	9	0	13
	市町村(日本語事業)に関する相談	5	10	1	16
	県(財団)事業への問合せ	21	13	9	43
	その他	3	17	13	33
	小計	55	115	64	234
	合計	100	284	155	539
【参考】月平均 (R2:8か月、R3:12か月、R4:9か月)		12.5	23.7	17.2	-

【属性別 相談件数】 (単位:件)

分類	R2	R3	R4	合計
外国人当事者	33	137	73	243
家族・友人	12	32	15	59
日本語教室	8	29	21	58
NPO・NGO等	2	7	1	10
国際交流協会・ラウンジ	14	9	1	24
市町村	8	26	10	44
公的機関(学校等)	13	21	9	43
企業	3	8	1	12
その他	7	15	24	46
合計	100	284	155	539

【参考】

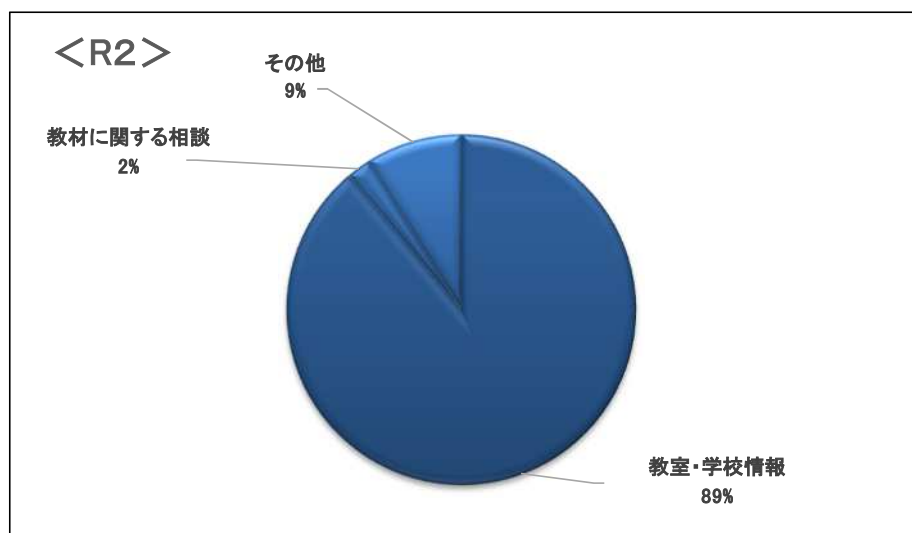
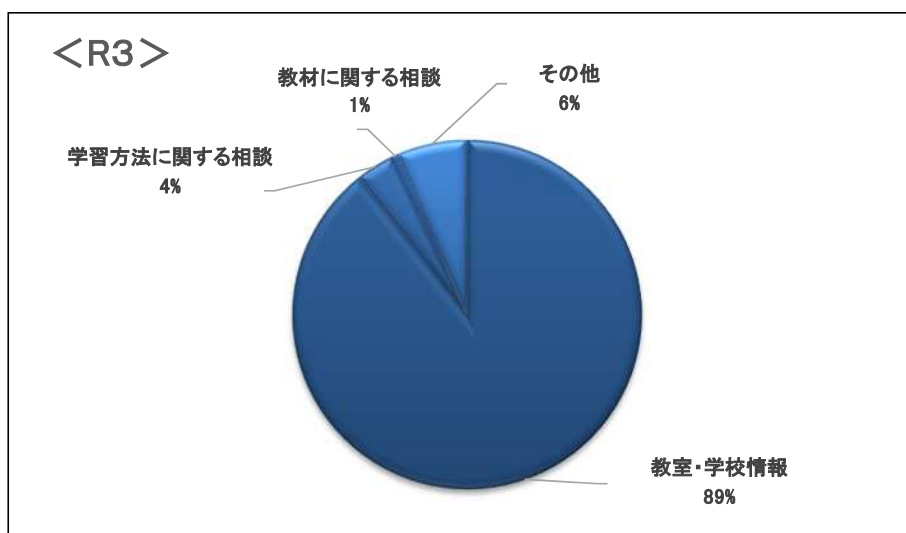
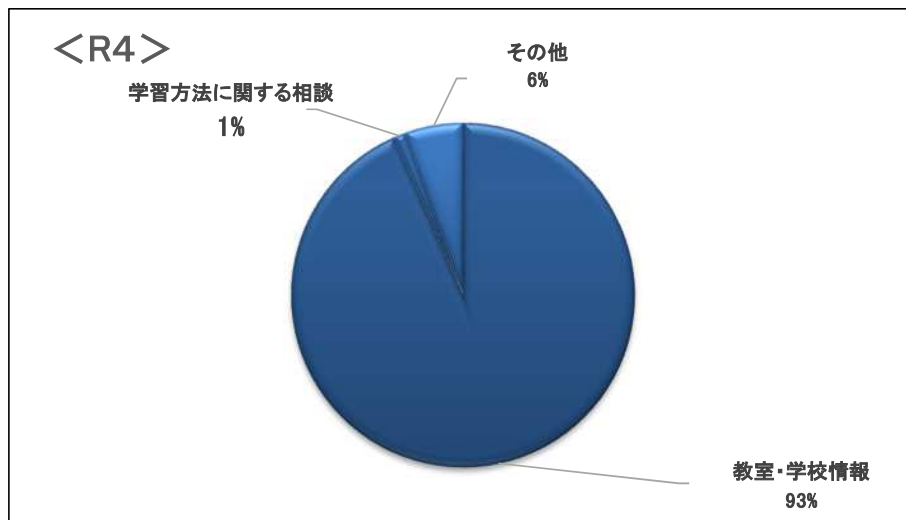
日本語教育事業以外で神奈川県が設置している「多言語支援センターかながわ」(委託先:
 (公財)かながわ国際交流財団)における日本語教育に関する相談件数

R4: 362件 (R4年4月1日~12月31日まで)

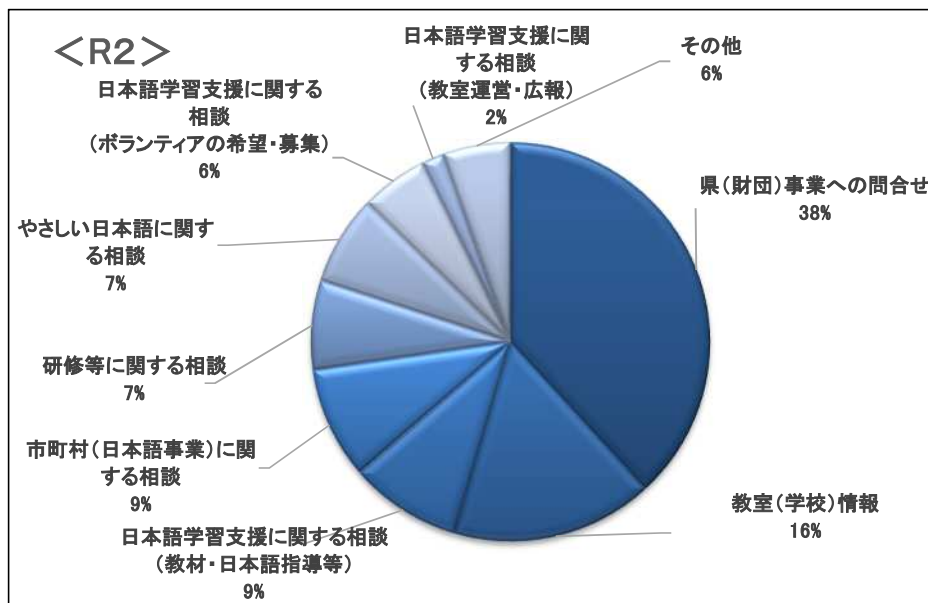
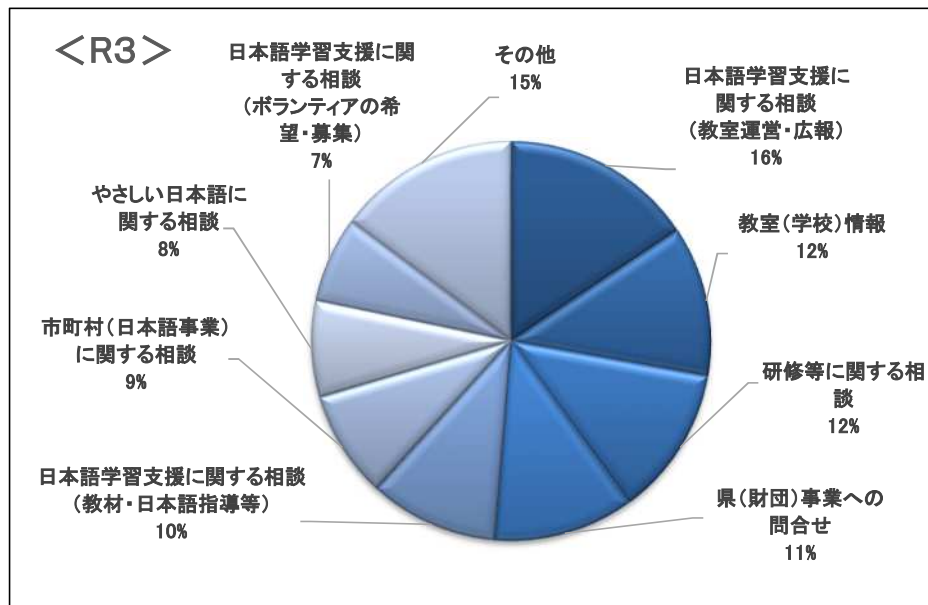
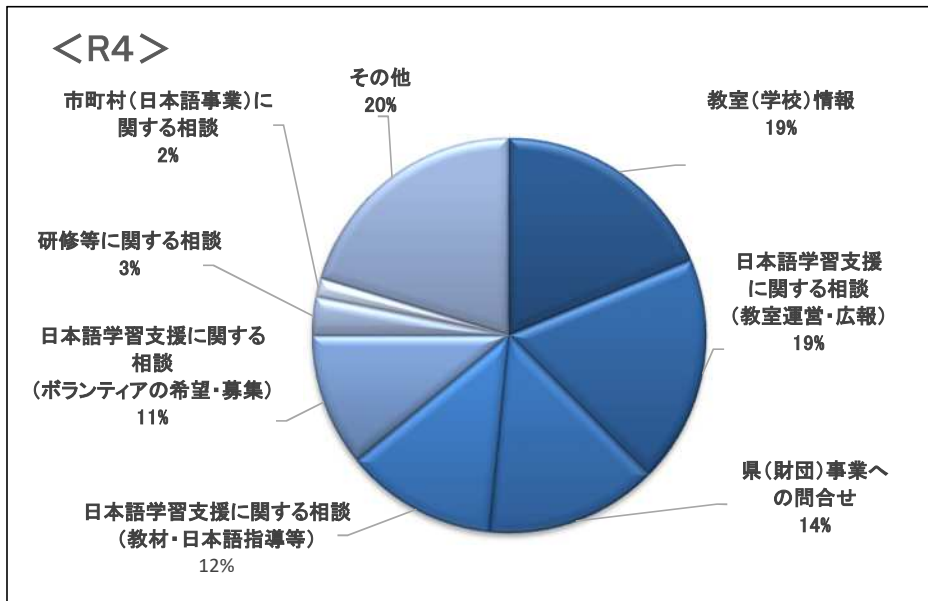
R3: 838件 (R3年4月1日~R4年3月31日まで)

R2: 389件 (R2年4月1日~R3年3月31日まで)

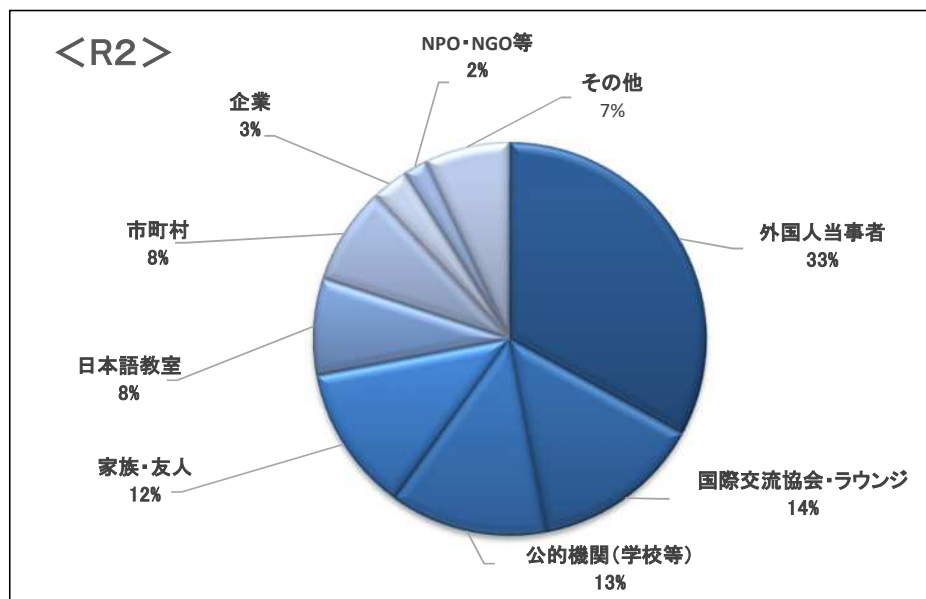
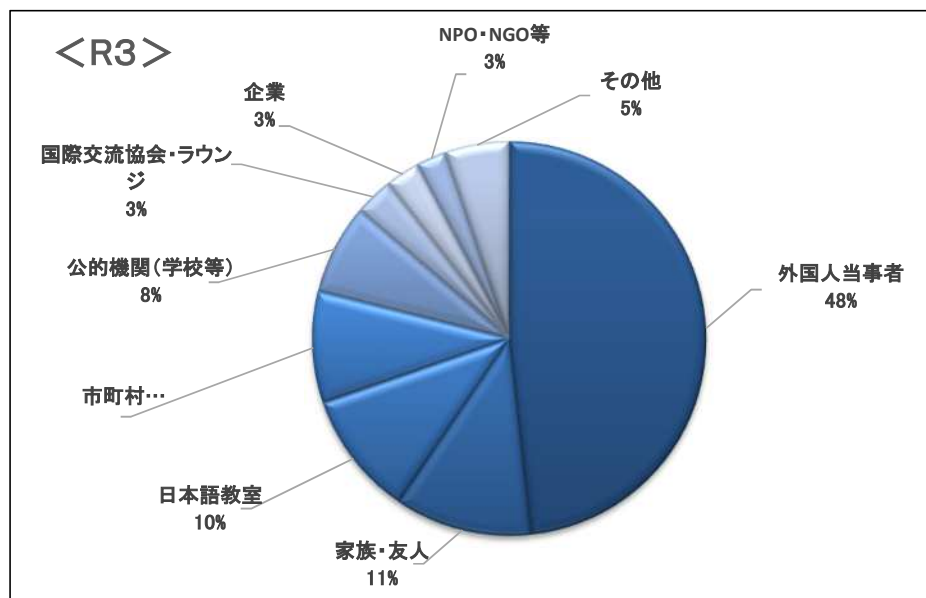
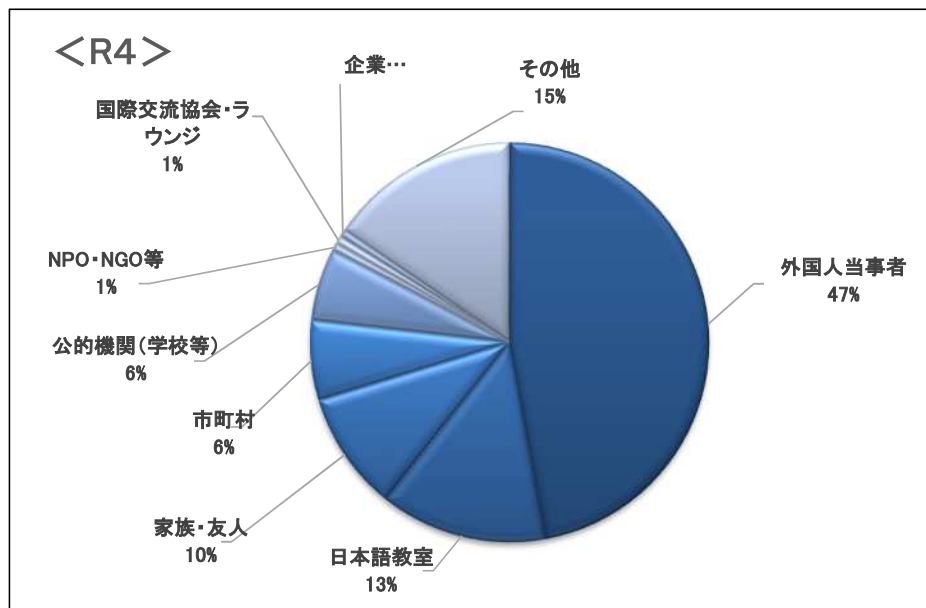
【「外国人当事者及び家族等」からの相談内容】



【「支援者等」からの相談内容】



【属性別】



「かながわでにほんご」月別アクセスデータ

	PV数	UU数	平均ページ 滞在時間(秒)
2020年8月	1,218	676	89
2020年9月	1,216	219	81
2020年10月	4,492	1,268	100
2020年11月	1,461	351	118
2020年12月	2,306	626	98
2021年1月	1,399	357	92
2021年2月	1,167	313	66
2021年3月	1,286	290	66
2021年4月	1,787	433	80
2021年5月	3,385	723	84
2021年6月	3,784	1,101	77
2021年7月	5,932	2,137	93
2021年8月	6,204	2,568	108
2021年9月	7,295	2,844	97
2021年10月	5,077	1,926	90
2021年11月	4,405	1,790	86
2021年12月	4,487	1,944	106
2022年1月	4,450	1,923	109
2022年2月	4,071	1,556	100
2022年3月	3,951	1,564	93
2022年4月	4,290	1,673	105
2022年5月	4,655	1,956	93
2022年6月	6,481	2,431	89
2022年7月	6,497	2,684	91
2022年8月	5,798	2,870	109
2022年9月	6,515	3,178	105
2022年10月	6,417	2,789	105
2022年11月	5,638	2,781	100
2022年12月	5,128	2,497	94
2023年1月			
2023年2月			
2023年3月			

※PV数＝ページビュー数（サイト内のページが表示された回数）

UU数＝ユニークユーザー数（特定の期間内にサイトを訪れたユーザーの数）

白 紙

オンライン開催

かながわ地域日本語教育フォーラム

居場所としての日本語教室 ～コロナ禍で途切れた人との交流をつなぎ直す～



神奈川県では、多文化共生をめざし、地域日本語教育の取組を進めています。今回は「居場所としての日本語教室」について考えるフォーラムを開催します。教室運営に関わるスタッフ、ボランティア、学習者などそれぞれの立場からお話を伺います。皆様のご参加をお待ちしています。

日時

2022年9月23日(金・祝) 14:00～16:00

Zoomによるオンライン開催(視聴用ウェブページ入場可能時刻 13:30)

定員等

定員 **200名(無料)** ※要事前申込

申込者への視聴用ウェブページURLの連絡: 9月21日(水) (予定)



内容

◆ 神奈川県の取組紹介(神奈川県国際課)

◆ 基調講演

「居場所としての日本語教室」 社会福祉法人さぽうと21学習支援室チーフコーディネーター 矢崎 理恵氏

◆ トークセッション

地域日本語教室における居場所に対する考えと実践、コロナ禍での取組や今後の活動などについてお話を伺います。

登壇者 矢崎 理恵氏 (社会福祉法人さぽうと21学習支援室チーフコーディネーター)

通訳・翻訳グループ カムオン・シェシェ

代表 林 静氏(中国出身) 事務局 金子 真澄氏 スタッフ 稲田 亜希氏(ベトナム出身)

NPO法人ふじみの国際交流センター

日本語教室代表 小林 暁美氏 スタッフ 塚本 秀樹氏

学習者 グエン チ ホアン コック氏(ベトナム出身)

進行 藤分 治紀氏 (公益財団法人かながわ国際交流財団/地域日本語教育総括コーディネーター)

申込方法

申込フォームよりお申込みください。

https://willap.jp/p/acc_4614/Kanagawanihongoforum/



申込締切

2022年9月16日(金)

お問合せ

公益財団法人かながわ国際交流財団 地域日本語教育フォーラム担当

メール: kifnihongou@kifjp.org TEL: 045-620-0011



オンライン
開催

かながわ地域日本語教育フォーラム

居場所としての日本語教室 ～コロナ禍で途切れた人との交流をつなぎ直す～



基調講演・トークセッション登壇者のご紹介

矢崎 理恵氏 社会福祉法人さぼうと21 学習支援室チーフコーディネーター

大学卒業後、JICA青年海外協力隊日本語教師としてフィリピンに赴き、日本語教師としてのキャリアをスタートさせる。帰国後、主として日本語学校で予備教育の日本語教育に携わる。学生時代から、「国際協力」と「日本語教育」が関心をもつフィールドであったことから、2006年、社会福祉法人さぼうと21学習支援室のコーディネーターとして難民の自立支援の活動にかかわるようになる。多様な人々が集う、いわゆる「日本語教室」に無限の可能性を感じながら、日々「場」づくりに励む。現在、東京都つながり創生財団理事。



通訳・翻訳グループ カムオン・シェシェ

横浜市瀬谷区で子育て中の外国にルーツのある家庭を対象に、通訳・翻訳等でサポートしている。地域で子育てをしている外国人ママや外国人支援団体へのヒアリング調査を実施。同時に外国人ママの力を借りて2014年「多言語子育て情報サイトら・楽・La」を作成、公開。その延長線上で2016年「カムオン・シェシェ」を立ち上げた。2022年1月より子育て中の外国人ママを対象にした「おやこにほんごくらぶ」を月1回開催している。



NPO法人ふじみの国際交流センター

外国ルーツの人達が直面している困難に対応し、安心して生活できるよう支援している。日本語教室では日本で生活していくために必要な日本語の学習を支援し、一人ひとりの状況や希望に合った学習内容を考え、より生活の幅が広がるよう一緒に学んでいる。国際子どもクラブでは子ども達が基本的な知識を身に付け、夢を持って育ちゆくよう支援している。また、ふじみの国際交流センターが日本人と外国人が共に学びあい、育ちあう場所となるために生活相談、国際交流、多言語情報などの事業も実施している。



ふじみの国際交流センター

主催



実施



令和4年度 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業活用

かながわ地域日本語教育フォーラム



参加無料



職場における 外国人とのコミュニケーションを考える

外国人従業員とともに「働きやすい職場」をめざすため、受入れ側の企業はどのような取組や心構えが必要なのでしょうか。フォーラムを通して一緒に考えてみませんか。皆様のご参加をお待ちしています。

2023年 (令和5年) **1/29** 日 14:00 ~ 16:00

Zoomによるオンライン開催 (13:30 から視聴サイトへの入場可能)

定員 200名

※ 要事前申込

申込者への招待 URL の連絡
1月26日 (木) (予定)

PROGRAM

1. 基調講演 丹野 清人 氏 (東京都立大学人文社会学部 教授)
2. 事例発表 福山 満子 氏 (公益社団法人横浜市福祉事業経営者会 事務次長)
浅海 一郎 氏 (内定ブリッジ株式会社 代表取締役CEO)
3. トークセッション [登壇者] 丹野 清人 氏 / 福山 満子 氏 / 浅海 一郎 氏
[進行] 藤分 治紀 氏 (公益財団法人かながわ国際交流財団 / 地域日本語教育総括コーディネーター)

申込方法

申込フォームよりお申込みください。

https://willap.jp/p/acc_4614/Kanagawanihongoforum/



申込締切

2023年
1/25 水



かながわ地域日本語教育フォーラム



職場における 外国人とのコミュニケーションを考える

登壇者の
ご紹介

丹野 清人 氏

東京都立大学人文社会学部教授

1966年茨城県生まれ。一橋大学大学院社会学研究科博士課程単位修得退学、博士（社会学）、日本学術振興会特別研究員PDを経て2002年より東京都立大学。著作に『顔の見えない定住化』（共著、2005、名古屋大学出版会）、『越境する雇用システムと外国人労働者』（単著、2007、東京大学出版会）、『「外国人の人権」の社会学』（単著、2018、吉田書店）、『国籍の境界を考える 増補版』（単著、2020、吉田書店）等がある。



福山 満子 氏

公益社団法人横浜市福祉事業経営者会 事務次長

中国遼寧省生まれ。14歳で中国残留孤児だった母と来日。職業訓練学校卒業後、美容師になる。結婚、出産のため仕事を辞めるが、その後パートタイムの仕事を開始。小学校のPTA活動や地域の民生委員、主任児童委員なども経験。現在は、横浜市福祉事業経営者会の事務次長として福祉施設で働く外国人の研修や就労支援のコーディネーターを務める。



浅海 一郎 氏

内定ブリッジ株式会社 代表取締役 CEO

文化庁「日本語教育推進関係者会議」委員。経産省、厚労省等の政府検討委員会で外国人雇用政策に関する委員を数多く務める。日本貿易振興機構（JETRO）や全国の自治体等を通し、外国人雇用企業に対して研修やコンサルティングを提供。国際交流基金（JF）客員講師として海外日本語教師の育成にも関与。



主催



神奈川県

実施



公益財団法人

かながわ国際交流財団

Kanagawa International Foundation



令和4年度

地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業活用